

平成25年度

事業計画書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

平成25年度 公益財団法人 庄内地域産業振興センター 事業計画

〔事業の基本方針〕

現下の我が国経済は、東日本大震災や世界経済の減速等の影響を受け厳しい状況にあります。このところの国の経済対策により景気回復の期待が高まっています。しかしながら、デジタル化やネットワーク化の広範な普及が、ビジネスやものづくりに大きな構造変化をもたらす競争が激化しているとともに、地域的には最先端半導体企業の経営改革などが影を落とし、鶴岡商工会議所の景況調査（H24年10月～12月期）による全業種の業況判断指数は△21.8で、前回調査より改善の兆しがみられるものの、地域経済は依然として厳しさが続いているものと見られます。このような経済環境の中、当センターでは、地域の経済や雇用の牽引役である中小企業の発展、ものづくりの高度化を支援するため、地域経済の課題、地域企業のニーズやこれまでに実施してきた事業成果等を踏まえ、「経営革新・新事業創出をめざす地域企業への支援」、「企業業績に貢献できる産業人材の育成」及び「バイオ研究開発の促進による新事業創出への支援」を重要事業として位置付け、地域経済の活性化に寄与するため、以下の重点項目を掲げ各種事業を実施してまいります。

また、当センターは、平成25年4月1日をもって、公益財団法人に移行し、新たなスタートを切ることから、社会的信用を高め、法人運営の透明化を図るとともに、関係する支援機関・団体や学術研究機関等との連携により、今後とも地域産業の活性化と活力ある地域社会の形成に努めてまいります。

（重点事項）

1. 経営革新・新事業創出をめざす地域企業への支援

経営革新、新分野進出を目指す企業経営者に対し、マネジメント能力向上や経営課題の解決などに資する各種セミナーを実施するとともに、起業家育成施設の適切な管理運営に努め、専門家の経営相談・指導や産業支援機関、金融機関等とのネットワークを併せ、独立・開業を目指す創業者に対し支援サービスを提供します。また、東北地域への自動車産業立地の動きを大きな機会として捉え、ものづくりの現場力・基盤技術力の強化を目的に、IT利活用による戦略的情報化の促進や取引拡大などに向けて地域企業が連携する取り組みに支援いたします。

2. 企業業績に貢献できる産業人材の育成

職務別研修、ビジネス実務研修やものづくりの現場で力を発揮する新技術・生産改善研修等、地域企業をめぐる環境変化に対応した体系的な人材育成プログラムを実施し、地域企業の経営革新や新規事業に向けた取り組みの中核を担う産業人材の育成を支援いたします。

3. バイオ研究開発の促進による新事業創出への支援

慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部や県内公設試験研究機関等の先導的なバイオ研究シーズを活用したバイオ技術産業の創出を目指し、県内企業と学術研究機関との共同研究開発、ネットワーク形成等の促進による事業化・商品開発等の取り組みを支援いたします。

4. 公の施設の管理運営・利活用の促進

施設の適正な管理運営と積極的な広報宣伝に努め、企業研修やセミナーといった自主企画事業の実施により、施設の利用促進を図ります。

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業（事業費 10,045 千円）

1-1 経営サポート・新事業支援事業（事業費 7,283 千円）

活力ある地域経済の構築を図るため、経営革新・生産改善や新たな事業展開を目指す企業や創業者に対し、外部専門家による相談、アドバイスを行うと共に、企業活動や創業に活かせる様々な考え方、手法や経営環境の変化に柔軟に対応するため、顧客創造をテーマとした実践セミナーを開催する。

(1) 企業のマーケティング戦略・新事業創造活動の支援

自社の商品・サービスを広め売上アップを図るには、顧客創造のためのマーケティング活動を戦略的に計画・実行することが重要であることから、マーケティング力強化を視点とした実践的なセミナーや新事業創造のためのマネジメントセミナーを開催する。

(2) 起業家フォーラムの開催

個人の新規創業や既存企業の新事業創出を促進するため、起業家向けの実践的・実務的なセミナー、後継者向けの経営革新講座や起業家と若手経営者の相互交流の場づくり等、創業をめざす起業家を支援する。また、本事業参加後、可能な限り起業家育成施設への入居を誘導していく。

(3) デジタルものづくり推進支援

製造業の現場において、3D-CADを中核ツールとする3次元モデルを活用したものづくりが競争力の強化、付加価値の向上に効果をあげていることから、デジタルものづくり推進支援として、ものづくりIT利活用セミナーや専門のITアドバイザーによる導入・活用支援を実施する。

(4) 改善指導コーディネーターによる製造業の生産改善相談・指導

生産改善指導の専門家を一定期間派遣し、生産体質改善による企業競争力向上のための課題について相談指導を行う。

(5) 地域企業による改善活動事例発表会の開催

生産現場で改善活動に積極的に取り組んでいる企業の改善事例を発表していただき、現場改善機運の醸成を図ることを目的に「改善事例発表会」を開催する。

1-2 企業間・産学交流連携促進事業（事業費 2,762 千円）

人・企業・関係団体の連携交流の輪を広げ、ビジネスチャンスを生み出すとともに、

地域企業の経営力向上のため、経営者同士の情報交換・研修・先進事例視察等の多様な交流の機会づくりに取り組む。

(1) 経営者フォーラムの実施

経営変革を担う経営者の相互交流による企業間協働を目的に、企業相互の技術や受発注に関する情報交換、取引連携の取り組みを支援するとともに、時勢に即したテーマによるセミナー等を開催する。

(2) 鶴岡ビジネスコミュニティサロンの開催

2 産業人材育成事業（事業費 17,896 千円）

2-1 企業立地産業人材育成事業（事業費 8,758 千円／経済産業省補助事業）

企業立地又は地域企業の事業の高度化につながる人材養成や人材確保を目的に、各種研修を実施する。現在、東北地域に集積が進んでいる自動車関連産業等における生産性の向上及び取引拡大といった経営課題解決のため、産業界、教育機関等と連携して企業活動の高度化に貢献できる産業人材の育成に取り組む。

(1) 自動車産業基盤技術研修の実施

自動車関連産業等の技術者・技能者の技術力の向上及び研究開発力の強化を図るため、次世代自動車を含めた自動車関連産業等の基盤技術研修を実施する。

(2) T P S 生産管理者・現場改善スキルアップ研修の実施

製造現場における生産性向上のため、T P S (トヨタ式生産システム)の考え方を中心に、生産改善等に係る知識の習得と現場実習を通して、現場改善活動の中核となる人材を育成する。

(3) 3 D-C A D 技術者研修の実施

ものづくりにおいて付加価値を生み出すツールとして、今後高度化する生産技術に欠くことのできない3 D-C A D 設計技術者を育成する。

2-2 職業能力開発講座事業（事業費 9,138 千円／鶴岡市補助・委託事業）

職務別の横断的な人材育成研修、ビジネス実務研修や若年者の職業意識向上と早期戦力化をはかるセミナーの実施により、地域の産業を担う人材の育成をめざす。

(1) 職業能力開発講座の実施

次世代の地域産業を支える人材確保・育成を図るため、地域における職業能力開発の推進を目的に、職務・職種別及びビジネス実務等の各種職業能力開発講座を実施する。

(2) 新社会人スタートセミナー等の実施

平成26年4月就職予定の高校3年生(新入社員)を対象に、企業の早期戦力となるために必要な知識やビジネススキル習得のためのセミナーを開催するとともに、就職活動を控えた高校2年生向けに職業観の醸成を目的とした職業紹介セミナーを開催する。

3 産学共同研究等促進支援事業 (事業費 31,030 千円)

3-1 バイオクラスター形成促進事業 (山形県・鶴岡市補助事業)

山形県バイオクラスター形成推進会議(会長 山形県知事)の事業管理機関として、慶應義塾大学先端生命科学研究所(慶應先端研)や山形大学農学部等の先導的なバイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクトの創出による地域活性化を目的に、コーディネーターによるマッチング活動や産学官研究交流会等を開催し、大学・公設試等のバイオ研究機関と企業との連携を促進するとともに、メタボローム解析技術の普及から共同研究成果活用による事業化までの企業の研究開発の取組みを支援する。

(1) 産学官共同研究コーディネート活動の実施

バイオ研究分野において、企業・大学・公設試験研究機関とのマッチング、ビジネスプラン作成、共同研究に係る外部資金の獲得等を支援する専門のコーディネーター3名を配置する。

(2) 産学官研究交流会等の開催

先導的なバイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクト等を推進し、バイオ研究分野における産学官連携基盤の強化を図るため、研究者間の連絡会議、交流会やバイオ研究成果発表会を開催する。

(3) 共同研究シーズ事業化支援事業

メタボローム解析技術の普及及び慶應先端研の研究シーズを活用した県内企業の事業化を促進するため、県内企業の慶應先端研とのバイオ共同研究の取組みや研究成果を活用した具体的な事業化へ向けた取組みを支援する。

- ・メタボローム解析技術活用支援 (解析技術費用の一部助成)
- ・バイオ技術事業化促進支援 (企業に対し共同研究費用の一部を助成)

4 伝統工芸技術等伝承・活用促進支援事業 (事業費 1,343 千円)

4-1 伝統工芸技術保存事業 (事業費 611 千円)

地域伝統工芸のひとつである「竹塗り漆器」の振興と技術伝承のため、鶴岡竹塗り同好会の研修活動を支援する。

4-2 鶴岡お菓子まつり共催事業（事業費 732 千円）

食文化としての地域菓子文化の振興と菓子を視点とした多様なサービス産業創出を目的に、鶴岡菓子協同組合と「鶴岡お菓子まつり」を共催する。

II 収益事業

1 施設管理運営事業（事業費 13,047 千円）

起業家支援・産業人材育成の拠点施設である鶴岡市庄内産業振興センターの管理運営業務を鶴岡市から受託し、指定管理者として、会議室、研修室、ホール等の施設・設備の貸出事務を行うほか、施設の保守清掃など効率的な管理運営に努め、一層の利用促進とサービスの充実を図る。また、起業家育成施設については、各種事業の積極的な展開と併せ、事業者の入居を促進する。

III 法人運営事業（事業費 4,463 千円）

当センターは、平成25年4月1日から公益財団法人として新たな一步を歩むこととなりました。今後は、関係法令を遵守し責任ある法人運営に努めるとともに、限りある経営資源を有効に活用しながら、職員が一体となってPDCAサイクルの推進を軸に、常に顧客指向を心がけた効果的・効率的な事業執行、財務基盤の強化、組織体制の充実、職員のスキルアップなど適切な組織運営に取り組みます。